



わたしの夢

川俣小学校6年

安齋 吏生^{りお}

人の心を動かす絵を描く イラストレーターになる

わたしの夢は、迫力がある絵を描くイラストレーターになることです。私がイラストレーターになったと思いますのは、小学3年生の時に、自主学習が早く終わり、自分の好きなキャラクターをノートの隅に描いていた時に細部までこだわって描けることがとても楽しかったからです。もともと細かい作業をすることが好きで、学校でも図工の工作が特に得意です。絵を描くことも、もとは一本の細い線でも、その線を重ねることで一つ絵が完成するため、自分の性分に合っているのではないかと思います。絵を描くことに夢中になってからは、休み時間も家に帰ってから毎日4時間ほど絵を描くこともあります。最近では、以前姉が使用していたタブレットでイラスト制作アプリを使用してデジタルイラストに挑戦しています。自分が心を動かされたように、自分が描いた絵で人の心を動かせるように、細部までこだわって描きこみ続けたいと思います。

町長のひとこと vol.56



「特定非営利活動法人コミュニティちやばたけ」の設立20周年記念式典に出席してきました。宮口あけみ理事長によると、この会の始まりは「この町に嫁いできてけど、周りに頼れる人もいなくて子育てが不安な人を手助けしたい」という話を初代菅野幸子理事長の自宅でしていたことからだそう。そんな活動も今年で20年となり、会員数も100人を超え、大きな組織となっており「千里の道も一歩から」と言うように、小さな努力でも粘り強く続ければやがて大きな成果に繋がっていくものだと思いました。会員のみなさんは自分の子育ての経験をいかして、現在では、自分が相談相手となって活躍していることに変え感動しました。みなさんの益々の躍進に期待します。